

# 射影極小な中心アフィン極小曲面

藤岡敦

関西大学システム理工学部数学科

2014年1月26日(日)

国民宿舎 慶野松原荘, 淡路島幾何学研究集会 2014  
(佐々木武氏(神戸大学), 古畑仁氏(北海道大学)との共同研究)

# 内容

射影極小中  
心アファイン  
極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

- ① 序
- ② 射影曲面
- ③ 射影極小曲面
- ④ 主結果

# 射影極小曲面と中心アファイン極小曲面

射影極小な中  
心アファイン  
極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

射影極小曲面:

- 1920年代から Thomsen らにより研究
- 3次元実射影空間内の曲面
- 射影計量の積分の停留曲面
- 超曲面の場合は佐々木氏により研究
- アファイン球面は射影極小曲面

中心アファイン極小曲面:

- 1990年代に Wang により超曲面に対して定義
- 3次元アファイン空間内の曲面
- 中心アファイン計量の面積積分の停留曲面
- 固有アファイン球面は中心アファイン極小曲面

問題

$$\{ \text{射影極小曲面} \} \cap \{ \text{中心アファイン極小曲面} \} = ?$$

# 射影曲面と対称2形式

射影極小な中  
心アフィン  
極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

$\mathbf{P}^3$ : 3次元実射影空間

$z : D \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 射影曲面

$(x, y)$ : 局所座標

$$z(x, y) = [z^1(x, y), z^2(x, y), z^3(x, y), z^4(x, y)]$$

$\mathbf{R}^4$  への写像ともみなす

仮定:  $z_{xy}, z_x, z_y, z$  は  $D$  上1次独立

$$\begin{cases} z_{xx} = lz_{xy} + az_x + bz_y + pz \\ z_{yy} = mz_{xy} + cz_x + dz_y + qz \end{cases}$$

と表すことができる

対称2形式:

$$\varphi := ldx^2 + 2dxdy + mdy^2$$

# 射影曲面と Euclid 空間内の曲面

射影極小な中  
心アフィン  
極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

$z : D \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 射影曲面

$$z(x, y) = [z^1(x, y), z^2(x, y), z^3(x, y), z^4(x, y)]$$

$z$  は  $\mathbf{R}^3$  内の曲面と対応する

$z^1 \neq 0$  のとき

$$\hat{z} := \left( \frac{z^2}{z^1}, \frac{z^3}{z^1}, \frac{z^4}{z^1} \right)$$

$\varphi = ldx^2 + 2dxdy + mdy^2$ : 対称 2 形式

## 命題

$\varphi$  は  $\mathbf{R}^3$  内の曲面  $\hat{z}$  の第二基本形式と共形的

不定値なものを考えることができる

漸近線座標を選ぶことができる

$$l = m = 0$$

# 積分可能条件

射影極小な中  
心アファイン  
極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

## 命題

不定値射影曲面に対する積分可能条件は

$$\begin{cases} L_y = -2bc_x - cb_x \\ M_x = -2cb_y - bc_y \\ bM_y + 2Mb_y + b_{yyy} = cL_x + 2Lc_x + c_{xxx} \end{cases}$$

ただし

$$a = \theta_x, \quad d = \theta_y$$

$$\begin{cases} L = \theta_{xx} - \frac{1}{2}\theta_x^2 - b\theta_y - b_y - 2p \\ M = \theta_{yy} - \frac{1}{2}\theta_y^2 - c\theta_x - c_x - 2q \end{cases}$$

# 正準系

射影極小な中心アファイン極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

$z : D \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 不定値射影曲面

$(x, y)$ : 漸近線座標

$$\begin{cases} z_{xx} = \theta_x z_x + bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + \theta_y z_y + qz \end{cases}$$

$\lambda : D \rightarrow \mathbf{R} \setminus \{0\}$

$z = \lambda w$  とおくと

$$z_x = \lambda_x w + \lambda w_x, \quad z_{xx} = \lambda_{xx} w + 2\lambda_x w_x + \lambda w_{xx}$$

$\lambda = e^{\frac{\theta}{2}}$  とすると

$$\begin{cases} z_{xx} = bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + qz \end{cases} \quad (*)$$

としてよい (正準系)

# 射影計量

射影極小な中  
心アファイン  
極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

正準系 (\*) に対して座標変換

$$u = f(x), \quad v = g(y)$$

を考える

$$C \in \mathbf{R} \setminus \{0\}$$

$z = \frac{C}{\sqrt{f'g'}} w$  とおくと正準系

$$\begin{cases} w_{uu} = \bar{b}w_v + \bar{p}w \\ w_{vv} = \bar{c}w_u + \bar{q}w \end{cases}$$

を得る

このとき

$$\bar{b}\bar{c}dudv = bcdxdy$$

射影計量という



# 射影極小曲面の定義

射影極小な中心アファイン極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

射影極小曲面: 射影計量の積分の停留曲面

$z : D \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 不定値射影曲面

正準系:

$$\begin{cases} z_{xx} = bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + qz \end{cases}$$

命題 (G. Thomsen 1928)

$z$ : 射影極小



$$bM_y + 2Mb_y + b_{yyy} = cL_x + 2Lc_x + c_{xxx} = 0$$

ただし

$$L = -b_y - 2p, \quad M = -c_x - 2q$$

# 中心アファイン曲面の定義

射影極小な中  
心アファイン  
極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

$\mathbf{R}^3$  をアファイン空間とみなす

## 定義

$f : D \rightarrow \mathbf{R}^3$ : 曲面

$f$ : 中心アファイン曲面

$\Updownarrow$  def.

$f$ : 接平面と横断的に交わる

## Gauss の公式

$f : D \rightarrow \mathbf{R}^3$ : 中心アファイン曲面

$(x_1, x_2)$ : 局所座標

$$f_{x_i x_j} = \Gamma_{ij}^1 f_{x_1} + \Gamma_{ij}^2 f_{x_2} - h(\partial_{x_i}, \partial_{x_j})f \quad (i, j = 1, 2)$$

対称  $(0, 2)$  テンソル  $h$  を中心アファイン計量という

# 中心アファイン極小曲面の随伴曲面

射影極小な中心アファイン極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

不定値中心アファイン極小曲面に対する積分可能条件は

$$\begin{cases} (\log \psi)_{xy} = -\psi - \frac{\alpha\beta}{\psi^2} + c_1 c_2 \\ \alpha_y + c_1 \psi_x = 0 \\ \beta_x + c_2 \psi_y = 0 \end{cases} \quad (c_1, c_2 \in \mathbf{R})$$

と表すことができる

変換

$$\alpha \rightarrow \lambda\alpha, \beta \rightarrow \frac{1}{\lambda}\beta, c_1 \rightarrow \lambda c_1, c_2 \rightarrow \frac{1}{\lambda}c_2 \quad (\lambda \in \mathbf{R} \setminus \{0\})$$

で不変

⇒ 中心アファイン極小曲面の1径数族  
随伴曲面

# 随伴曲面がすべて射影極小となるもの

射影極小な中心アファイン極小曲面

藤岡敦

内容

序

射影曲面

射影極小曲面

主結果

$f : D \rightarrow \mathbf{R}^3$ : 不定値中心アファイン極小曲面  
射影曲面とみなす

$$z = [1, f] : D \rightarrow \mathbf{P}^3$$

定理 (F-H. Furuhata-T. Sasaki)

随伴曲面がすべて射影極小となる  $f$  は次の 1~3 の何れか

- 1: Tchebychev 作用素が 0 の曲面
- 2: 中心アファイン曲率が 1, Pick 不変量が 0 の線織面

$$f = A'(u) + vA(u)$$

- 3: 中心アファイン曲率が 1 の曲面

$$f_0 = \left( \frac{e^{x+y}}{x+y} \cos(x-y), \frac{e^{x+y}}{x+y} \sin(x-y), 1 + \frac{1}{x+y} \right)$$

の随伴曲面

ご清聴ありがとうございました